

公益社団法人 福井被害者支援センター

with you
あなたとともに

平成28年度第1回 県民公開講座が開催されました



平成28年11月2日(水)福井県国際交流会館に於いて犯罪被害者等支援講演会が開催されました。平成13年に発生した、大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷事件のご遺族である本郷紀宏氏が、「子供の安全を守る～悲劇を繰り返さないために～」という演題で講演されました。

本郷氏は、「被害者遺族となった方たちは、それぞれいろいろな考え方や乗り越え方があると思いますが、私にとって何よりの被害者支援は、二度とこのような悲劇を起こさせない安心安全な社会づくりをしていただくことです」と述べられました。亡くなられた長女優希ちゃんの写真とともに、当時の状況や想いなどを話され、地域や学校が危機意識を持って安全な地域づくりにつなげてもらいたいと強く訴えられました。聴講された方々は、時折涙を拭いながら熱心に耳を傾けられていました。



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

平成28年度理事会・通常総会 報告

平成28年5月21日(土)福井県警察本部葵分庁舎に於いて平成28年度第1回理事会が開催され、平成28年6月5日(日)に平成28年度通常総会が開催されました。

総会では、松原理事長の挨拶に引き続き、来賓の福井県議会議員野田富久様、福井県県民安全課長白崎雅義様、福井県警察本部警務課被害者支援室長古家継一様よりご挨拶を賜りました。

①平成27年度事業報告 ②平成27年度決算報告③平成28年度事業計画(案)④平成28年度収支予算(案)⑤理事・監事の選任

以上の議題について、いずれも原案通りに可決、承認されました。



理事会の様子



通常総会の様子

平成27年度事業報告

相談事業

- ◇ 電話・面接相談
毎週 月曜日～土曜日 10時から16時まで
年間相談件数 137件
・電話相談 90件 ・面接相談 10件
・メール相談 2件 ・直接支援 35件
- ◇ 直接支援
直接支援 49件は、裁判所等への付き添い支援、関係機関との連絡調整等
交通事故被害者支援の自助グループ「光の風」の例会を9回開催

広報・啓発事業

- ◇ 広報紙『with you』の発行 3回
39号・40号・41号
- ◇ 県民公開講座 2回 開催
・9/15 一井彩子氏 於：福井県立看護専門学校(少年犯罪被害者遺族)
・10/27 渡辺保氏 於：福井県国際交流会館(殺人事件被害者遺族)
- ◇ 講演活動
・『命の大切さを学ぶ教室』
中学校・高校での開催 計27校
・企業・団体関係 計6団体
- ◇ 街頭キャンペーン
・11/15 於：JR福井駅西口
・11/25 於：アオッサパネル展
・11/28 於：ハーモニーホール福井
- ◇ ホームページによる広報

平成27年度事業報告

関係機関との連携

- ◇ 犯罪被害者支援ネットワーク会議 出席
小浜警察署・坂井西警察署・越前警察署・坂井警察署・鯖江警察署・あわら警察署・勝山警察署・福井警察署・敦賀警察署・大野警察署で行われ連携強化を図る。

研修事業

- ◇ 相談員養成講座
 - ・福井会場（5日間）
8/18・8/20・8/22・8/24・8/26
於：福井県警察本部葵分庁舎
 - ・敦賀会場（5日間）
8/19・8/21・8/22・8/25・8/27
於：敦賀男女共同参画センター
- ◇ 相談員継続研修
 - ・福井（12回）
4/23・5/30・6/20・7/4・8/22・9/5・10/24・11/21・12/5・1/23・2/6・3/24
於：福井県警察本部葵分庁舎

外部研修参加

- ◇ 質の向上研修会（東海北陸ブロック）名古屋
 - ・上半期 9/12・9/13
- ◇ 福井県犯罪被害者等支援相談員研修会
 - ・8/31 於：福井市地域交流プラザ601
- ◇ 被害者支援秋季全国研修（東京）
 - ・10/3 10/4 於：機械振興会館

その他

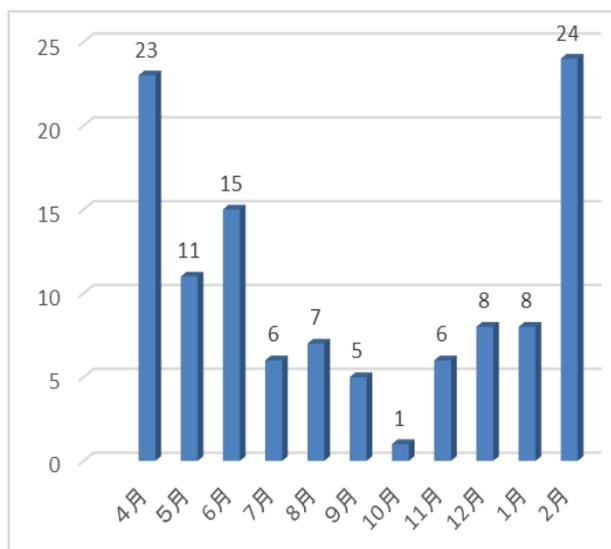
- ◇ 表彰
 - 団体**
10/2 全国被害者支援ネットワーク
「犯罪被害者支援功労団体」福井被害者支援センター
 - 個人**
10/2 全国被害者支援ネットワーク
「栄誉賞」 野口睦子理事
 - 12/11 福井県警察本部 感謝状 宮地美貴子相談員
 - 3/9 滋賀県警察本部 感謝状 宮地美貴子相談員

平成27年度 支援件数

被害別支援別件数

| 被害内容 | 相談手段 | | | | 合計 |
|--------|------|----|----|-----|-----|
| | 電話 | 面接 | 直接 | メール | |
| DV | 4 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 虐待 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 強制わいせつ | 5 | 2 | 1 | 0 | 8 |
| 強姦 | 13 | 2 | 0 | 0 | 15 |
| 交通事故 | 10 | 3 | 0 | 0 | 13 |
| 財産被害 | 8 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| ストーカー | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 殺人 | 23 | 1 | 34 | 0 | 58 |
| 暴行・傷害 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| その他 | 23 | 2 | 0 | 2 | 27 |
| 合計 | 90 | 10 | 35 | 2 | 137 |

月別支援件数



平成27年度会計報告

平成28年度福井被害者支援センター
役員名簿

| 平成27年度正味財産増減計算書 | | | |
|-------------------------|------------|------------|----------|
| 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで | | | |
| (単位:円) | | | |
| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 受取会費 | 3,222,000 | 2,968,000 | 254,000 |
| 受取補助金等 | 8,699,838 | 8,409,936 | 289,902 |
| 受取寄付金 | 2,642,731 | 1,743,318 | 899,413 |
| 雑収益 | 294,509 | 1,091,696 | -797,187 |
| 経常収益計 | 14,859,078 | 14,212,950 | 646,128 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 10,981,315 | 11,297,299 | -315,984 |
| 管理費 | 2,464,216 | 2,474,156 | -9,940 |
| 経常費用計 | 13,445,531 | 13,771,455 | -325,924 |
| 当期経常増減額 | 1,413,547 | 441,495 | 972,052 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | 0 |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 公益事業推進積立引当金繰入額 | 1,000,000 | 400,000 | 600,000 |
| 経常外費用計 | 1,000,000 | 400,000 | 600,000 |
| 当期経常外増減額 | -1,000,000 | -400,000 | -600,000 |
| 当期一般正味財産増減額 | 413,547 | 41,495 | 372,052 |
| 一般正味財産期首残高 | 3,241,356 | 3,199,861 | 41,495 |
| 一般正味財産期末残高 | 3,654,903 | 3,241,356 | 413,547 |
| II 正味財産期末残高 | 3,654,903 | 3,241,356 | 413,547 |

27年度会計報告の詳細はホームページをご覧ください。

福井被害者支援

検索 

第2回県民公開講座
日 平成28年12月8日
場所 福井県立大学
講師 一井彩子氏
演題 命の大切さを考える
 ～子供たちを被害者にも加害者にもしないために～

| 役 名 | 氏 名 |
|------|--------------------------------|
| 理事長 | 松原 六郎 |
| | (公財)松原病院代表理事 医師 |
| 副理事長 | 川上 賢正 |
| 事務局長 | 弁護士 |
| | 福井県犯罪被害者支援連絡協議会会長 |
| 副理事長 | 山口 征樹 |
| | 弁護士 |
| 理 事 | 藤井 健夫 |
| | 弁護士 |
| 理 事 | 細川 久美子 |
| | 福井県済生会病院 医師 性暴力救済センター センター長 |
| 理 事 | 佐野 周一 |
| | 元福井新聞社 特別顧問 |
| 理 事 | 野口 睦子 |
| | NPO法人あなのカウンセリング研究会理事 |
| 理 事 | 岡本 克己 |
| | 臨床心理士 |
| 理 事 | 林 正憲 |
| | 元福井市役所 職員 |
| 理 事 | 山本 桃花子 |
| | 臨床心理士 |
| 監 事 | 加藤 義朗 |
| | 元裁判官 |
| 監 事 | 竹内 順子 |
| | 司法書士 |

福井県警察職員賛助会員入会式

犯罪被害者への支援の輪を広げようと、県警察の警察官や一般職員 952 人と親睦会など 11 団体が、平成 28 年 9 月 8 日、福井被害者支援センターに賛助会員として入会され、会費 2,380,000 円を頂きました。

松原六郎理事長は「警察職員の皆さまが被害者支援活動にご理解いただき深く感謝しています。今後とも私たち一同、心をひとつにして犯罪被害者の方々と為の支援活動をさせていただきたいと思っております」と述べました。



県警被害者支援室長から入会申込書を受け取る松原六郎理事長



記者会見の様子

ボランティア相談員養成講座

本年度も犯罪被害に遭われた方に対する理解と支援の知識を学ぶボランティア相談員養成講座を 5 回にわたり実施し、5 名が参加されました。

今後は継続研修や相談員活動を通してよりよい支援活動ができるように、力を合わせていきたいと思えます。



養成講座の様子



受講者の感想

この 15 年程の間に被害者のための制度が増えたことを知りました。それでもまだ泣き寝入りの事件が多く納得できない部分もあると思うので、変わってほしいと思います。

目と心を使って耳で聴くという言葉が印象的でした。相手の立場に立つことの難しさや求めている答えがわからない中での対応というのはとても難しいことなのだと改めて感じました。

ボランティア相談員養成講座日程

| | | |
|------|--------------------|---------------------------------|
| 8/22 | 民間団体による犯罪被害者支援について | 川上賢正 弁護士 |
| | 関係機関における被害者支援 | 県警被害者支援室 古家継一室長 県民安全課 布川友美主任 |
| 8/24 | 精神症状・疾患について | 松原六郎 医師 |
| | 関係機関における被害者支援 | 細川久美子 医師 |
| 8/25 | 被害者支援における法制度 | 内上和博 弁護士 |
| | 関係機関における被害者支援 | 法テラス 藤井久美子氏 |
| 8/26 | 被害者への関わり方・声を聴く | 被害者遺族 |
| 8/29 | 相談支援について | 前川伸晃 臨床心理士 |

研修報告

相談員継続研修は、事例検討や関係機関見学など、相談員としての活動に活かすことを目的に毎月 1 回土曜日に開催しております。

外部研修

7/23・7/24

質の向上研修上半期 於：石川
3名参加

6/23・7/7・7/21・8/4

女性相談に関わる事務局専門スタッフ養成講座
於：大阪 1名参加

7/16・7/17

支援者のための研修講座
於：東京 1名参加



継続研修の様子

命の大切さを学ぶ教室

犯罪被害の深刻さや命の大切さについて理解を深めてもらうために、福井県警察本部及び学校と協働で「命の大切さを学ぶ教室」を下記の通り開催致しました。

昨年度に引き続き福井被害者支援センターの宮地美貴子相談員が講師を務めました。「12歳で旅立った息子とともに」という演題で、交通事故で息子を亡くした実情や母の思い等を講演しました。

開催校

| 日 | 学校名 | 対象者 |
|-------|-------|-----------|
| 6月24日 | 安居中学校 | 全校生徒 97人 |
| 7月14日 | 成和中学校 | 全校生徒 597人 |
| 7月15日 | 河野中学校 | 全校生徒 35人 |
| 9月21日 | 光陽中学校 | 全校生徒 448人 |

研修内容

6/18 電話相談の実際 ③

- 講師 齊藤 荘二 臨床心理士
- 参加者 7名

内容

事例（性犯罪）をもとに電話相談での対応の仕方を学ぶ、話を聴く上での気の配り方やアドバイス等についてグループ討議する。

7/30 電話相談の実際 ④

- 講師 齊藤 荘二 臨床心理士
- 参加者 6名

内容

被害念慮と思われる方への対応、対応に苦慮する相談について。

8/31 事例検討

- スーパーバイザー 齊藤荘二 臨床心理士
- 参加者 3名

9/10 電話相談の実際 ⑤

- 講師 齊藤 荘二 臨床心理士
- 参加者 9名

内容

事例（DV）をもとに電話相談での対応の仕方を学ぶ。相談者から、これはDVではないかと聞かれたとき、気をつけるべき点について。

その他の活動報告

6月

15日 小浜警察署犯罪被害者支援地域ネットワーク会議

7月

- 1日 滋賀県犯罪被害者等支援連絡協議会総会にて講演
- 6日 命の大切さを学ぶ教室 於：耐久中学校（和歌山県）
- 13日 湖南学院にて講話（石川県）
- 21日 福井刑務所にて講義（被害者の視点を取り入れた教育）
- 27日 自助グループ「光の風」

8月

- 1日 警察学校（初任科生）にて講義
- 2日 石川県被害者等支援連絡協議会にて講演
- 5・6日 全国支援活動者会議（東京）
- 10日 性暴力被害者支援関係機関連絡協議会
- 23日 福井フェニックスロータリークラブにて講演

9月

- 9日 坂井地区少年警察協働員会視察
- 10日 自助グループ「光の風」



光陽中学校での教室



河野中学校での教室

生徒さんの感想より

よくテレビなどで耳にしたりすることがあるけれど、ずっと他人事だと思っていました。そして今日も、本当に自分に起こったらと考えても実際には想像がつかせません。でも遺族の方の思いを聴いて心が痛くなりました。「死」はいつ、だれにおとずれるものかわからないからこそ、むやみに口にしてはいけない言葉だと思いました。自分の命を粗末にするようなことも絶対にしてはいけないと思いました。

私は一日に何回も犯罪のニュースを見ます。それを見ているときは、「そんなことがあったんだ」とか「かわいそうだな」という事だったり、たまに「自分の友達がそんな目にあったりしたら嫌だな」という考えを持ちながら見る場合があります。でもそこまで深くかんがえたことはありませんでした。今日の講演を聞いて明日が来るのはあたりまえではないと思う気持ちが強く芽生えてきました。これからは人の命を重くとらえながら生活していきたいと思います。

11月25日～12月1日は
犯罪被害者週間です

支え合い 寄り添う心 育んで

週間期間中パネル展示と古本の回収（ホンデリング）を行います。お読みにならなくなった本をお持ちになってパネル展へお越し下さい。
展示期間 11/22～11/25
会場 AOSSA 1階アトリウム

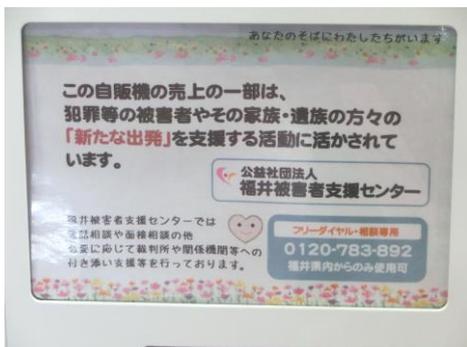


犯罪被害者支援自動販売機



この度、福井市の佐々木運輸株式会社様が、売上の一部に当支援センターの支援活動の資金への寄付が付帯する、犯罪被害者支援自動販売機を設置して下さいました。運輸会社様に設置していただくのは、今回が初めてです。ご支援いただき誠にありがとうございました。

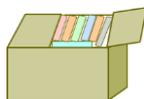
ありがとうございました



佐々木運輸株式会社従業員様(左)と宮地相談員



ホンデリングプロジェクト ～本で広がる支援の輪～



年末年始キャンペーン 12/1～1/31

- ☆ 買取金額 20%UP
 - ☆ 書き損じハガキ 50円/枚
- (必ず本と同梱ください)

不要になった本のご寄付が、犯罪によって体や心を傷つけられたり、大切なものを失って苦しんでいる方たちへの支援活動につながります。

平成27年度は、本のご寄付により38,695円の寄付金をいただきました。ご協力頂きました皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

引き続き、今年度も募集しております。お申込書はホームページからダウンロードすることもできますので、詳しくは事務局へお問い合わせください。



2016年11月発行
発行者

福井県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人 福井被害者支援センター

〒910-0004 福井市宝永3丁目8-1
福井県警察本部葵分庁舎3階
事務局 TEL 0776-88-0801 FAX 0776-88-0820

ホームページ <http://www.fvsc.jp/>
eメール info@fvsc.jp

編集後記

「このような想いは私たちだけでたくさんです」と訴えられた本郷紀宏さん。被害者遺族となったほとんどの方は、二度と同じような事件や事故が起きないようにと強く望んでいらっしゃいます。私たちはその想いを受け取らなければいけません。被害者も加害者も出さない社会づくりにむけて、どう取り組んでいったらいいのかを、今回の県民公開講座で改めて考えさせられました。(宮地)